第3学年A組女子 保健体育科学習指導案

指導者 教諭 茶圓 奈緒美

- 1 日 時 平成27年10月27日(火)5校時
- 2 単元名 体育理論 「文化としてのスポーツ」
- 3 単元について
- (1) 現代生活におけるスポーツは、生きがいのある人生を送るために、健やかな心身や、豊かな交流、伸びやかな自己開発の機会を提供することができる。また、スポーツは民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土など様々な要素が混在する中においても、人々を結びつけることができる。これらスポーツのもつ意義は、オリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会において、世界中の人々に教育的な意義や倫理的な価値を伝える機会として、国際親善や世界平和に大きな役割を担っている。2020年、わが国でおこなわれる、東京オリンピック・パラリンピックにおいて、スポーツの意義を学ぶ機会として貴重な実体験をすることができると思われる。やがて国民のスポーツに対する関心が高くなり、スポーツがより浸透していくであろうと考えた時、本単元で既習した内容を生かし、自分の生活や人生を豊かにする手がかりとなる単元として、大変意義深いと考える。
- (2) 本学級の女子生徒は13名である。その中で運動部に所属していた生徒は7名である。

事前のアンケートの結果では体を動かしたりスポーツ観戦をしたりすることが好きと答える生徒が 11 名で運動 やスポーツに興味を持っている生徒がほとんどである。中学校卒業後,何かスポーツをしようと思うかという質問に 対しては自分がしていた部活動である卓球・バドミントンや体育の授業で行ったバレーボールをしてみたいと答え ている。本校の生徒が運動やスポーツに触れる機会はほとんどが学校生活であり,授業や部活動での運動経験が生徒 にとっては貴重なスポーツとの出会いの場となっている。これらの現状から考えても本校における学校体育の担う 役割は大きいと考える。

- (3) 指導にあたっては次の点に留意しながら学びへの姿勢や意欲を育てたい。
 - ① なかまと関わり合う活動を多く取り入れることで活動意欲を高めたい。(関心・意欲・態度)
 - ② ワークシートを活用して課題を見つけさせ、将来について考えさせたい。(思考・判断)
 - ③ グループでの活動を通して互いの考えに違いがあることに気づかせたい。(知識・理解)
- 4 単元の目標と評価規準
- (1) 目標
- 文化としてのスポーツの意義について意見交換をしたり、スポーツライフについて考えたりする活動に積極的に 取り組むことができる。
- オリンピックなどの国際大会の意義について学び、スポーツライフについての考えをまとめることができる。
- 文化としてのスポーツの意義について理解し、スポーツライフについて考えることができる。
- (2) 評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	知識・理解
文化としてのスポーツの意義について	文化としてのスポーツの意義について	オリンピックなどの交際的なスポーツ
意見を交換したり,今後のスポーツライ	学んだり,自分たちのスポーツライフに	大会が果たす役割や人々を結びスポーツ
フについて考えたりする活動に積極的に	ついての考えをまとめたりしている。	の文化的な働きについて知る。
取り組もうとしている。		

5 学習指導計画(5時間)

(1) 現代社会におけるスポーツの文化的意義 1時間

(2) 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割 1時間

(3) 人々を結びつけるスポーツの文化的な働き 1 時間

(4) スポーツライフ未来予想図をつくってみよう 2 時間(本時 1/2)

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ○スポーツライフに興味を持ち、グループで意見交換したり自分の考えをワークシートにまとめたりする活動に積極的に取り組むことができる。
- ○自分たちのスポーツライフについて考え、出された意見を整理している。
- ○これまでの運動経験からスポーツライフ未来予想図を作成することができる。
- (2) 準備物 教師: 資料, ワークシート, 付箋 生徒: 教科書, 保体ノート, ワークシート, 筆記用具
- (3) 学習指導過程

(3) 字習指導過程		
学習活動	予想される生徒の反応および支援活動	
1 前時までの学習を振り返り,様々なスポーツライフが	・3つのスポーツライフを提示し、様々な関わり方がある	
あることを知る。	ことに気づかせる。	
・現在もスポーツしている	・ 香中研保健体育部会高松支部研究テーマ「ときめき」	
・スポーツをしている人を支える	① いくつかのスポーツライフを提示し、興味を高める。	
・過去 (運動不足) → 少し改善 (軽い運動)	・資料の表現方法は限定せず、言葉や絵を使ったものを作	
2 本時の課題を知る。	成し提示する。	
スポーツライフ未来予想図を考えよう		
3 自分のスポーツライフを考える。	・グループをつくり代表者を決め、そのスポーツライフ未	
(1) グループづくり	来予想図について考えさせる。	
(2) スポーツライフ未来予想図(案)作成	・付箋を配り自分の考えを記入させ、誰の意見かが分かる	
	ようにする。	
	・記入するときには絵や言葉などを自由に使い、形にこだ	
	わらないようにさせる。	
	・意見交換がうまくいかなかったり記入の仕方で困ってい	
	たりするグループには、教師が他のグループの考えを付箋	
	に書いて伝え、考えを深めさせる。	
4 他のグループと交流する。	香中研保健体育部会高松支部研究テーマ「ときめき」	
	② 他のグループの考えを知り、意欲を高める。	
	・グループ交流の前に教師のモデルを使い、伝え方や聞き	
	方など、活動の目的を明確にする。	
	・グループで考えた未来予想図を発表させる。	
	・途中であってもそこまでの考えをまとめ, そのグループ	
	の『イチオシ』を発表させる。	
5 本時のまとめをする。	香中研保健体育部会高松支部研究テーマ「ときめき」	
	③ 他のグループのスポーツライフの図を見て、深めさせる。	
	・グループの発表を見たり聞いたりして気がついたことを	

(4) 評価

・提示されたスポーツライフに興味を持ち、グループで意見交換したり、自分の考えをワークシートにまとめたりする活動に積極的に取り組もうとしている。

付箋に書いてワークシートに貼らせる。

- ・今後の自分たちのスポーツライフについて考え、出された意見を整理することができる。
- ・これまでの運動経験から,個人に即したスポーツライフ未来予想図を作成することができる。